

12月18日 (金) 国内最終発表会

【日時】

- 12月18日 (金) 8:15 - 12:00



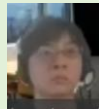










【参加者】

- 受講生26名、審査員5名、メンター11名、文科省2名、JST 1名、JICA 4名、インド工科大1名、企業10名、東大スタッフ5名

【オンライン発表】

- 13チーム 英語にて、7分ピッチ、5分Q&A
- 審査4項目 1: 課題設定と市場性、2: 解決策、3: 競合優位性、4: 発表スキルおよびQ&A力

【結果】

- 研究者情報発信ツール  水オンサイト供給  オンライン業務支援  建設現場簡易WiFi 
- 声アシストデバイス  感染予防マスク用フィルター  海洋プラ処理  空気から水生成 
- 家庭向け電カスマートシステム  皮膚疾患診断  看護師業務改善  医療機器管理システム  感染症検査キット 

- 1位: 声アシストデバイス、2位: 家庭向け電カスマートシステム、3位: 感染予防マスク用フィルター
- 総評: 今年度は、課題の設定は、おおむね適切であったが、解決策、競合優位性、収益確保が明確でない提案も見られた。2月のピッチには改善が必要。